

平成25年(2013年) 8月の結果 (二人以上の世帯)

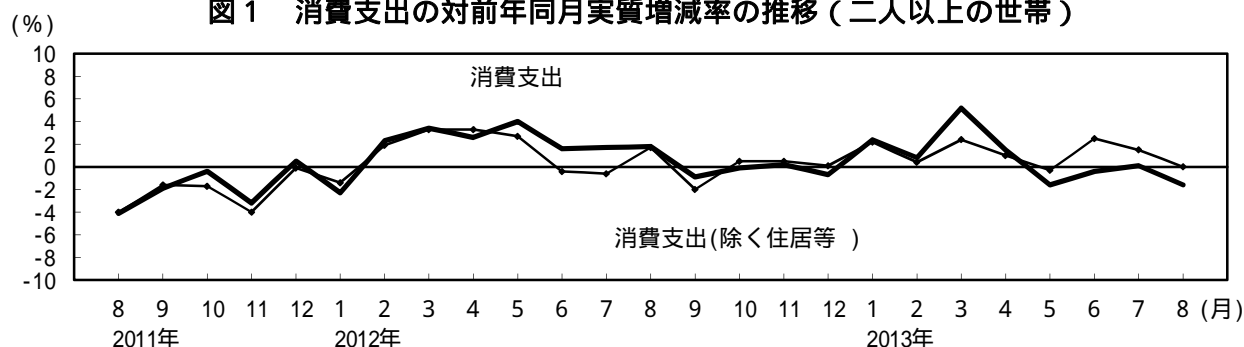
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	284,646 円		
前年同月比	実質 1.6%の減少 名目 0.5%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.5%の減少
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質 0.0% 名目 1.1%の増加	前月比(季節調整値)	実質 0.1%の増加
うち勤労者世帯の実収入は、		うち勤労者世帯の消費支出は、	
前年同月比	実質 0.9%の減少 名目 0.2%の増加	前年同月比	実質 0.5%の減少 名目 0.6%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

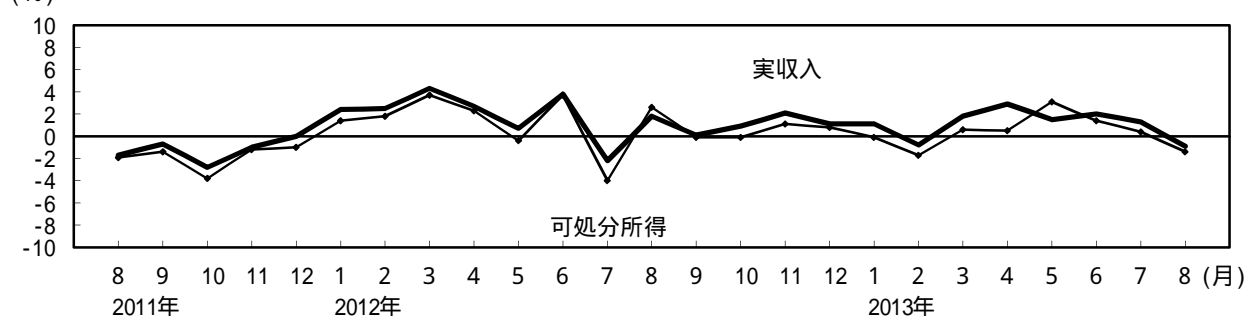
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2012年					2013年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	1.8	-0.9	-0.1	0.2	-0.7	2.4	0.8	5.2	1.5	-1.6	-0.4	0.1	-1.6
消費支出(除く住居等)	1.7	-2.0	0.5	0.5	0.1	2.2	0.4	2.4	1.0	-0.3	2.5	1.5	0.0

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2012年					2013年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実収入	1.8	0.1	0.9	2.1	1.1	1.1	-0.8	1.8	2.9	1.5	2.0	1.3	-0.9
可処分所得	2.6	-0.1	-0.1	1.1	0.8	-0.1	-1.7	0.6	0.5	3.1	1.4	0.4	-1.4
消費支出	0.9	0.6	0.7	1.8	2.2	4.1	2.7	7.6	1.1	1.4	0.9	-1.6	-0.5
平均消費性向	-1.4	0.7	0.6	0.6	0.7	3.6	3.3	6.3	0.5	-1.7	-0.2	-1.4	0.8

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2013年8月－二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	284,646	-0.5	-1.6	-1.6		2か月ぶりの実質減少
食 料	70,377	3.0	2.5	0.59	<増 加> 外食, 肉類など	6か月連続の実質増加
住 居	19,435	-0.7	-0.3	-0.02	<減 少> 家賃地代	4か月連続の実質減少
光 熱・水 道	20,449	5.7	-0.3	-0.02	<減 少> ガス代, 上下水道料など	7か月連続の実質減少
家具・家事用品	11,274	5.9	7.7	0.29	<増 加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	5か月連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	8,829	2.3	1.5	0.05	<増 加> 洋服, 被服関連サービスなど	2か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	12,308	-4.1	-3.6	-0.16	<減 少> 保健医療サービス, 医薬品など	2か月連続の実質減少
交 通・通 信	38,891	-4.3	-7.2	-1.01	<減 少> 自動車等関係費, 通信	5か月連続の実質減少
教 育	7,133	5.0	4.5	0.11	<増 加> 補習教育	6か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	31,311	2.5	3.3	0.36	<増 加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品	3か月連続の実質増加
その他の消費支出	64,639	-5.9	(-6.9)	(-1.67)	<減 少> 仕送り金, こづかいなど	3か月ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

<減少項目>

実質寄与度

自動車等関係費	[-0.81]	自動車購入, 年極・月極駐車場借料
諸雑費	[-0.49]	婚礼関係費, 信仰・祭祀費
交際費	[-0.39]	贈与金, つきあい費
通信	[-0.30]	移動電話通信料, 固定電話通信料
教養娯楽用耐久財	[-0.18]	テレビ, パーソナルコンピュータ
家賃地代	[-0.17]	公営家賃
保健医療サービス	[-0.16]	医科診療代, 他の入院料*

<増加項目>

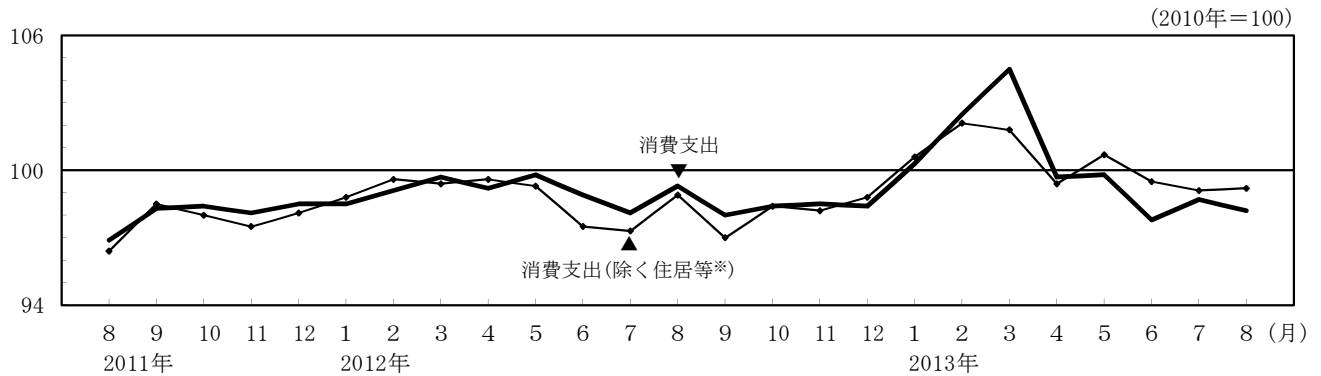
教養娯楽サービス	[0.41]	宿泊料, スポーツ月謝
家庭用耐久財	[0.36]	エアコンディショナ, 電気冷蔵庫
外食	[0.30]	飲酒代, すし(外食)
補習教育	[0.16]	幼児・小学校補習教育, 中学校補習教育

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2012年					2013年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	99.3	98.0	98.4	98.5	98.4	100.3	102.5	104.5	99.7	99.8	97.8	98.7	98.2
対前月変化率(%)	1.2	-1.3	0.4	0.1	-0.1	1.9	2.2	2.0	-4.6	0.1	-2.0	0.9	-0.5
消費支出(除く住居等※)	98.9	97.0	98.4	98.2	98.8	100.6	102.1	101.8	99.4	100.7	99.5	99.1	99.2
対前月変化率(%)	1.6	-1.9	1.4	-0.2	0.6	1.8	1.5	-0.3	-2.4	1.3	-1.2	-0.4	0.1

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2013年8月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	471,411	0.2	-0.9	-0.9	6か月ぶりの実質減少
世帯主収入	362,852	2.2	1.1	0.86	3か月連続の実質増加
定期収入	351,297	2.1	1.0	0.72	2か月連続の実質増加
配偶者の収入	54,481	0.6	-0.5	-0.05	21か月ぶりの実質減少
うち女性	53,827	0.4	-0.7	-0.08	22か月ぶりの実質減少
他の世帯員収入	8,658	5.0	3.9	0.07	2か月連続の実質増加
非消費支出	82,503	2.6	—	—	3か月連続の増加
可処分所得	388,907	-0.3	-1.4	—	6か月ぶりの実質減少
消費支出	312,622	0.6	-0.5	—	2か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	80.4	(前年同月) (ポイント差)		0.8	季節調整値でみると、73.9%で、前月に比べ、0.2ポイントの上昇となった。

注 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。